

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
射水市 小杉地区

平成27年12月

富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	観光施設入場者数	人/年	1,316	1,500	2,309	確定	○	あり	-	6,638	H27年5月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	確定値は評価値を大きく上回っており、事業による効果発現が確認されている。
						見込み ●									
指標2	コミュニティバス乗降客数	人/年	8,473	8,470	12,475	確定	○	あり	-	12,134	H27年5月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	確定値は評価値を若干下回ったものの、コミュニティバスの乗降客数は従前値よりも大きく増加しており、事業による効果発現が確認されている。
						見込み ●									
指標3	地区内居住人口数	人	18,839	18,800	18,637	確定	△	あり	-	18,595	H27年4月	△	射水市全体として、人口減少が続いており、その傾向に本地区も影響を受け続けていると思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内人口は減少を続けているが、市全域と比べると減少幅は改善傾向にあり、一定の歯止め効果は発現していると考えられる。
						見込み ●									

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1					確定								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容 (都市再生整備計画事業が完了(H26年度)後のH27年度に実施した事業等を記載)	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	生活基盤整備による地区の人口の増加	・公園や道路の街路樹等の剪定や清掃、施設修繕を実施するなど環境の改善活動を進めた。	・居住環境の一定の改善がみられている。	地区の人口は減少を続けているため、今後も、継続的に住みやすい住環境の整備を進め、人口減少の歯止め、定住人口の確保を図っていく。
	観光施設などの公共施設の来館者数の持続	・竹内源造記念館の施設内におけるソフト施策の充実(体験型イベントの充実)を進めた。また、市内の各公共施設を中心に、施設のリニューアルに関するお知らせ・PRを進めた。	・継続的に見学者・体験イベント参加者の増加がみられた。	引き続きにぎわいと交流が持続されるよう、今後もソフト事業による魅力付けを継続的に実施していく。また、竹内源造記念館を核として地域内の歴史・文化施設を結び、回遊性を生み出すようなハード整備を実施していく。
	学生などを取り込んだイベント開催による賑わいの再生	商店街におけるイベントの継続開催や、鑑絵教室など、学生を取り込んだイベントの開催を進めた。	学生を中心とした来訪者の増加がみられ、地域の賑わい創出に繋がっている。	今後も引き続き、若い世代を取り込んだイベント開催などを進める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	既存住宅地における定住人口の確保	・空き地や空き屋情報を提供するなど、定住人口の確保に向けた取り組みを進めた。	・空き家に対する問い合わせは、本地区においてはほとんどなされていない状況にある。	既存の住宅地域については、空き地・空き家対策の検討を進めると共に、周辺まちなみに調和した生活基盤の整備を進める また、誰もが安心して住みやすいまちなかを形成するため、これまで整備した箇所と連携する既存施設の整備を進める

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

こすぎちく  
小杉地区

とやまけん いみずし  
富山県 射水市

平成27年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	いみずし 射水市	地区名	こすぎ 小杉地区	面積	429 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標	
大目標: 交流機能強化・生活環境向上による中心市街地の再生と定住促進	
目標1	既存資源を活かし、まちの魅力を高めて市民や来街者が集い交流するまちとして再生させる。
目標2	市民の生活拠点として都市の機能と利便性を高める。
目標3	生活環境の向上を進めながら定住の促進を図る。

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は旧小杉町のほぼ中央に位置し、JR北陸本線小杉駅を含む中心市街地を成す地区である。</li> <li>・地区内には昭和40年代以降に県が開発した住宅団地(居住人口1.1万人)や商業施設、大学や研究・環境科学施設などの文教施設があり、周辺には年間67万人が訪れる広域公園を備えるなど、既存の資源に恵まれた地域であるが、地区内の公園等都市集積施設の老朽化が進んでいることや、中心市街地の活力低下が著しいことが現状である。</li> <li>・地区内には旧北陸街道があり、その周辺には歴史ある家並みが所々に見られるなど、かつての宿場町としての名残を残す旧市街地となっているが、旧北陸街道周辺の歴史建造物・文化資源の知名度が低い状況にある。そこで、近年徐々にではあるが町並修景や通りでのイベント、建物の活用などにより通りの魅力づくりが進められている。</li> <li>・地区内の道路、公園等が老朽化するとともに市民も高齢化しており、これらの老朽化した施設は高齢者が利用しにくい状況であることから、生活環境や商業環境への少なからぬ支障となっていることが懸念される。</li> <li>・本地区では地元商店街や地域住民からなる市民団体による各種イベント(旧北陸道Art-in小杉など)が行われるなど、市民を中心としたまちづくりの気運が盛り上がりつつある。</li> <li>・本市全体の人口推移は横這いの傾向にあるが、少子化の影響などから平成22年を境に減少に向かうと予想される。</li> </ul>	
課題	
<p>地区内の既存施設や観光資源の有効活用と知名度向上が依然進んでおらず、地区近傍の集客施設訪問者をまちなかに取り込めていないことと、各種都市施設の老朽化に加え、住民の高齢化や少子化が進むことにより地区内人口の減少が予想され、地域の衰退につながりかねないことが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区近傍の県民公園太閤山ランドに年間67万人の来場者があるにも関わらず、これらの来訪者を中心市街地に取り込めていない。そこで、来訪者を惹き付けるような魅力ある施設整備や、まちなかに誘導する仕掛けづくりなど、地域振興の核の育成と交流人口の拡大が課題となっている。</li> <li>・地区北部の旧街道周辺においては、地域の貴重な財産である歴史・文化資源の知名度が依然として低く、これらの有効活用とPR不足が課題となっている。</li> <li>・地区内の道路・公園等が老朽化していることに加え、近年の主流であるバリアフリーにも対応しておらず、生活環境の充実や商業環境の魅力化の障害となっていることが懸念される。</li> <li>・イベント開催時等の一時的な賑わいだけでなく、普段からの賑わいを取り戻すことが課題である。</li> <li>・地区内の高齢化に歯止めをかけるためにも、若い世代が集うような新たなイベント、仕掛けづくりの継続が課題である。</li> </ul>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>射水市総合計画(平成20年3月)の基本構想では、快適で住みよいまちづくりとして、若い世代を始めとした定住人口の増加や街なか居住を進めるため、市街地に人が集まる環境を整え、賑わいを創出し、快適に生活できるような生活環境の整備を進めることや、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入を推進すると共に、花や緑のある住む人にやさしいまちづくりを進めることが位置づけられている。また、基本計画では、下条川等と連携し、水辺空間や古い街並み等を活かした特色あるまちづくりの推進、JR小杉駅周辺の整備、水辺や古い街並みの観光資源としての整備などが位置づけられている。</p>	

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 観光施設入場者数	人/年	竹内源造記念館の入場者数	歴史・文化・観光の拠点となる施設の整備やイベント開催など、交流人口拡大のための方策による効果を、施設利用者数の推移により確認する。	1,316	平成20年度	1,500	平成26年度
2. コミュニティバス乗降客数	人/年	商店街、市街地付近での乗降客数	生活拠点としての機能と利便性向上の指標として、商店街や市街地付近のバス停の乗降客数の推移を確認する。	8,473	平成20年度	8,470	平成26年度
3. 地区内居住人口数	人	地区内の居住人数	生活基盤整備等による生活環境の向上が定住促進に及ぼす効果を、地区内居住人口の推移により確認する。	18,839	平成20年度	18,800	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(交流ゾーンの充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の歴史・文化・観光拠点として、竹内源造記念館(旧小杉町役場)を改修し、魅力の核となる鰻絵の展示を行う。また、広く地区内の文化資源を知ってもらうためにこれまで行ってきた鰻絵教室を継続し、市内外を問わず交流の場、情報交換の場を作る。</li> <li>・下条川祭り、下条川河川公園で行われるイルミネーション事業等のイベントを商工会等が中心に来街者をひきつける新たな方策を企画する。</li> <li>・駅北口には商工会を中心に遊休地を利用したふれあい市場を開催し、地元の特産物や野菜など販売し地区の交流を深める。</li> </ul>	<p>竹内源造記念館(基幹・提案併用/既存建築物活用事業・地域創造支援事業)、鰻絵の鰻絵の購入修復展示(地域創造支援事業)、鰻絵教室の実施(関連事業、ボランティア)、商店街にぎわいづくり事業(関連事業、商工会等)、下条川祭り(関連事業、商工会)、イルミネーション事業(関連事業、商工会)、ふれあい市場(関連事業、商店街組合等)、コミュニティバス(関連事業、市)</p>
<p><b>整備方針2(生活拠点としての利便性向上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生活拠点や賑わいの核に連携する道路整備や、憩いの場となる公園整備を行う。</li> <li>・快適で利便性の高い道路整備を行う。</li> <li>・これまで行ってきたコミュニティバスの運行を継続するなど生活環境の向上を図る。</li> <li>・ソフト面では商工会等が中心となり商店街にぎわいづくり事業を継続していく。</li> </ul>	<p>公園整備(基幹事業、提案事業)、道路整備(基幹事業)、商店街にぎわいづくり事業(関連事業、商工会等)、ふれあい市場(関連事業、商店街組合等)、コミュニティバス(関連事業、市)</p>
<p><b>整備方針3(定住の促進)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区域内の老朽化している公園、道路を整備し、有機的に既存の資源を連携させ住みたくくなるような魅力あるまちづくりを行い区域内の人口定着を促進する。</li> </ul>	<p>公園整備(基幹事業)、道路整備(基幹事業)、コミュニティバス(関連事業、市)</p>
<p>その他</p> <p>○ 事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の商店街(千成商店街)広場にて、冬期を除く毎月第3日曜日に「せんなり日曜日」、JR小杉駅前にて「ふれあい市場」を開催している。地域住民のコミュニティづくりと賑わいの創出を図るため、商店街組合、各地域振興会等による活動を強化し、「花いっぱい運動」や「歩こう会」を実施している。このような取り組みを今後も引き続き継続することが重要である。</li> <li>・平成14年度から現在に至るまで、旧北陸街道付近にて、9月末土日に沿線をギャラリー街道として地域の魅力、資源等を発信する、旧北陸道アートin小杉を開催している。地域参加型イベントで、地域住民のコミュニティづくりと賑わいの創出を図るため、組織の活動を強化してきている。また近年は、鰻絵看板等を利用した鰻絵スタンプラリーも行っている。このような取り組みを今後も引き続き継続、拡大していくことが重要である。</li> </ul>	

